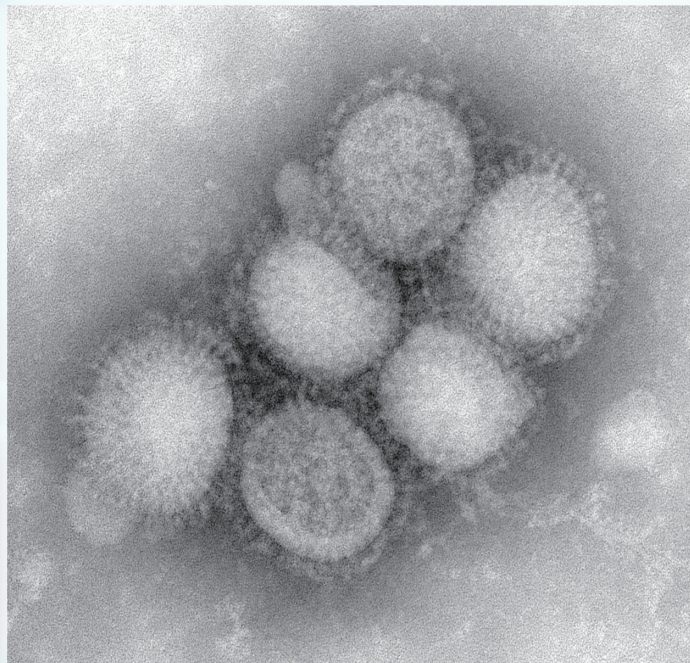


新型インフルエンザって どんな病気？



新型インフルエンザウイルスの姿
(電子顕微鏡写真)(直径80~120nm)



も く じ

1. 新型インフルエンザの発生	1
2. パンデミックとは	2
3. 新型インフルエンザの成り立ち	2
4. 新型インフルエンザ感染の特徴	4
5. 新型インフルエンザの症状	4
6. インフルエンザが重症化しやすい人	5
7. 重症化して入院した患者の持っていた病気等	5
8. 新型インフルエンザ感染時の療養	6
9. 抗ウイルス剤による治療	6
10. 自宅療養中に病院へ行く必要がある時	7
11. インフルエンザに感染しないために インフルエンザを人にうつさないために	8
12. 新型インフルエンザの今後の動向	9
新型インフルエンザへの対応のポイント	9



新型インフルエンザの発生

メキシコに端を発した新型インフルエンザは我が国においても2009年5月以降、兵庫・大阪を中心に感染者が増加しました。その後感染者は一時減少したが6月下旬から再び増加し、国立感染症研究所の推計では、2009年8月10日～16日の週にインフルエンザで約11万人が医療機関を受診、厚生労働省は8月21日新型の豚インフルエンザが全国的に「流行期」に入ったと発表しました。新型インフルエンザとはこれまでヒトに感染しなかったインフルエンザウイルス（宿主が鳥や家畜）が変異し、ヒトへ感染するようになり、さらにヒトからヒトへ持続的且つ効果的に感染するウイルスに変異した場合「新型インフルエンザ」といいます。インフルエンザウイルスの特徴は表①に示す通りで従来の季節性インフルエンザでもよく変異します。

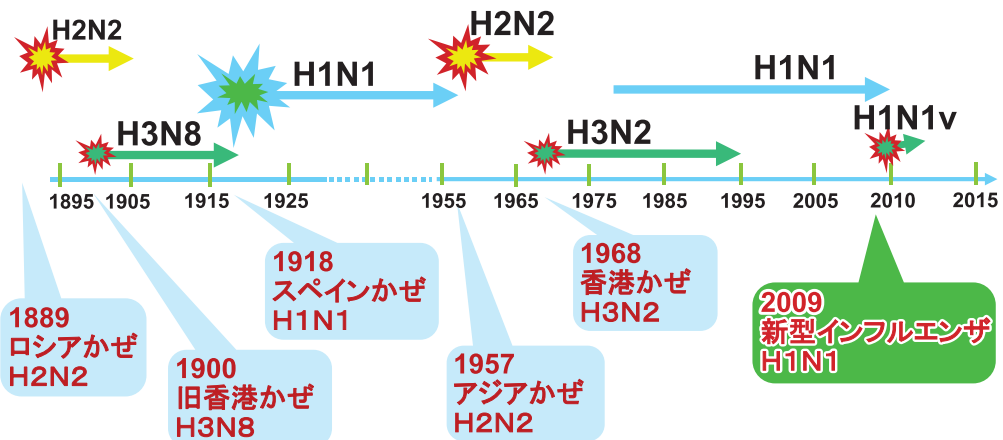
表① インフルエンザウイルスの特徴

- 大きさ：直径80～120nm（1mmの1万分の1）
- 表面に突起がある（H，N）
- 環境中では2～8時間生きている（感染力あり）
- 75℃以上の加熱で短時間で死滅する
- 石けん、アルコールで死滅する
- 毎年少しずつ変異する（ヒトへの感染能を維持するため）
- 大きな変異を起こすと大流行する
- 新型ウイルスが出現→世界的流行（パンデミック）を起こす
- パンデミック必ずしも強毒ウイルスの出現とは言えない

パンデミックとは

インフルエンザウイルスがヒトの世界で広範かつ急速に広がり、世界的に大流行している状態をパンデミックといい、表②のように過去何回も新型インフルエンザウイルスによるパンデミックが出現しています。

表② パンデミックインフルエンザの出現の歴史



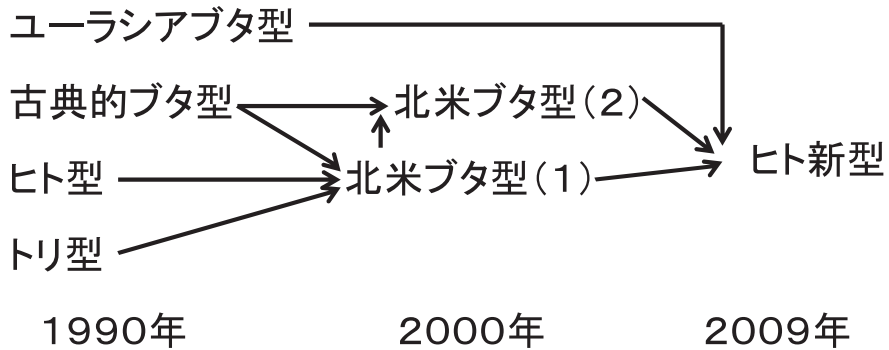
Reproduced and adapted (2009) with permission of Dr Masato Tashiro, Director, Center for Influenza Virus Research, National Institute of Infectious Diseases (NIID), Japan.

新型インフルエンザの成り立ち

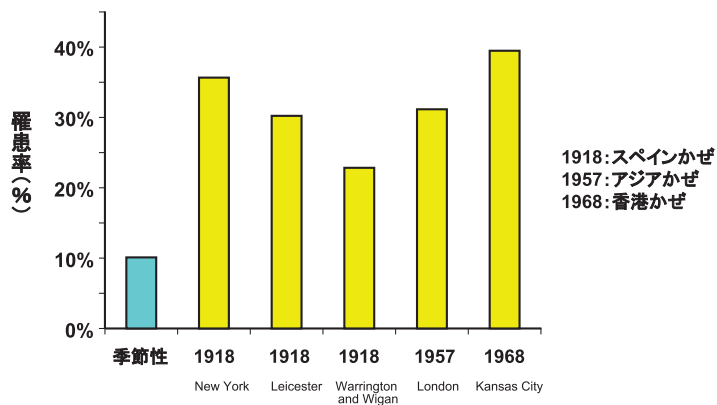
**新型（豚）インフルエンザの正式名称は
Swine-origin 「Influenza A (H1N1)」です。**

豚インフルエンザ（H1N1）のヒトへの最初の感染例の発見は1976年2月にアメリカ ニュージャージー州の陸軍訓練基地で死亡した19歳の兵士の検死によるものです。米疾病対策センター（CDC）などの国際研究チームが今回の新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析を進めた結果、北米や欧州・アジアの鳥、豚、ヒトのウイルスから遺伝子が複雑に再構成された新型が世界のどこかの豚の集団で流行し続けていたが、豚インフルエンザの監視が甘いために見過ごされてきた可能性があるということです。

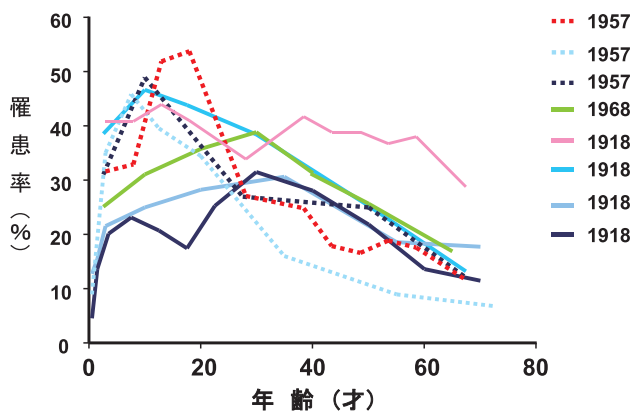
新型インフルエンザウイルスの系統図



インフルエンザの罹患率(%) (季節性とパンデミック型の比較)



過去のパンデミックインフルエンザの年齢別罹患率(%)



新型インフルエンザ感染の特徴

潜伏期	(感染してから症状が出るまでの日数) 1～7日 (多くは3～4日)
感染可能期間	(他人にうつすことのできる日数) 症状が出る1日前から 症状が出てから5～7日目まで
伝染力	(他人にうつす力) 季節性インフルエンザと同程度
症状	: 季節性インフルエンザとほぼ同じ、数日で軽快する
後遺症	: なし
合併症	: 肺炎 (細菌の感染によるものが多い) 成人呼吸窮迫症候群 (ARDS) 脳炎・脳症 (子ども) 死亡率 (季節性インフルエンザでは0.05%)

新型インフルエンザの症状

(症状)	(頻度)	(持続日数平均)
発熱	88%	2日
せき	79%	4日
体がだるい	79%	
のどが痛い	71%	4日
関節痛・筋肉痛	55%	1日
鼻汁	53%	2日
頭痛	52%	2日

(神戸市立医療センター中央市民病院の患者49人のまとめ)

インフルエンザが重症化しやすい人は？

高 齢 者 (65才以上)

乳 幼 児 (5才以下)

妊 婦

慢性の病気 (糖尿病、慢性肺疾患、心臓病、腎臓病、喘息など)

免疫不全 (免疫が低下する病気や状態)

米国では毎年インフルエンザで20万人が入院
3万6千人が死亡



厚生労働省が8月28日に発表した参考のための推計では国民の2割が発症、約38万人が入院し、約3万8千人が重症化する、となっています。海外では8月26日の報告でインフルエンザ感染死者は米国で522人、ブラジルで557人と急速な感染の拡大と重症化が認められます。

重症化して入院した患者の持っていた病気等

(新型インフルエンザ入院患者341人のデータ)
(ニューヨーク市からの報告)

慢性の肺の病気	41%
免疫低下状態	13%
慢性の心臓病	12%
妊 娠 中	38%

新型インフルエンザ感染時の療養

1) 安静

- ・重症化を防ぐ
- ・自宅療養では他人への感染を少なくできる

2) 栄養

- ・何でも良い
- ・水分を十分にとる(脱水症の予防)

3) 抗インフルエンザ剤

4) 解熱剤(かぜ薬など)

抗ウイルス剤による治療

薬 剤 名：タミフル(カプセル、ドライシロップ)
リレンザ(粉末を吸入)

投 与 時 期：感染後できるだけ早く

効 果：症状をやや軽くするが、特効薬ではない
重症化しやすい人では重症化を防ぐ
新型インフルエンザにも有効

作 用：細胞の中でウイルスが増えるのを押さえる
細胞の外にあるウイルスには作用しない

副 作 用：タミフルは子どもでは、まれに異常行動をおこす

自宅療養中に、どうなれば 病院に行く必要がありますか？

子どもの場合

1) 次の症状があるときは、時間外でもすぐ受診して下さい。

呼吸困難や呼吸数の増加^(*)

皮膚が青白くなる

水分が十分にとれない

嘔吐を繰り返す

元気がなく、ぐったりしている

過敏になる、落ち着きがない、反応が鈍い

解熱後に再発熱し咳がひどくなる

2) 次の症状はインフルエンザ脳症が疑われます。至急受診して下さい。(緊急度1^{**})

ひきつけた

普段は見られない意味不明な異常言動がみられる

強い解熱剤は、インフルエンザ脳症予後を悪くしますので、解熱剤の使用については必ずかかりつけ医に相談しておきましょう。

(*)：呼吸数増加の目安→0才：50回/分以上、1～4才：40回以上、
5才以上：30回以上

(**): すぐに救急車を呼ぶ

成人の場合

呼吸困難や息切れ

胸部・腹部の痛みや圧迫感

突然のめまい

意識もうろうとなる

嘔吐を繰り返す

症状軽快後に再発熱し咳がひどくなる

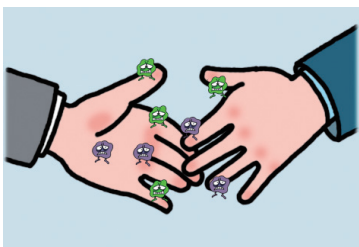
インフルエンザに感染しないために
インフルエンザを人にうつさないために

Q

インフルエンザウイルスは
どのようにして感染するのでしょうか？

A

接触感染と飛沫感染です



(接触感染)



(飛沫感染)

咳をする時のエチケット



咳、くしゃみが
する時は
マスクをしましょう！

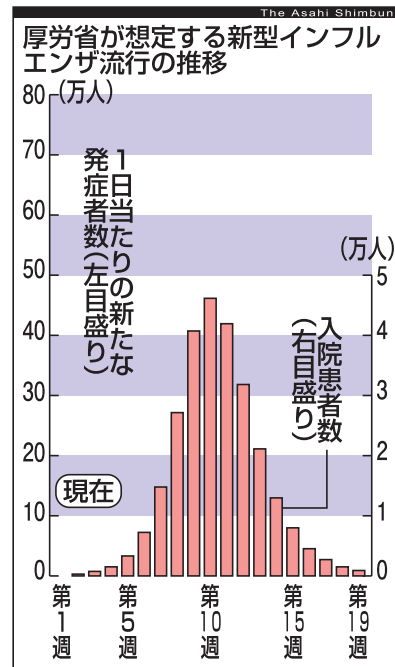
マスクがない時
咳やくしゃみを
する時は、ティッシュ
やハンカチで口や鼻
をおおきましょう！



咳やくしゃみをした
後も必ず手洗いを
しましょう！

新型インフルエンザの今後の動向

- 新型ウイルスに対しては、ほとんどの人が免疫を持っていない。その結果、多くの人が感染する。
- インフルエンザの流行期は秋～冬である。
- 今年の秋～冬には大きな流行が予測される。
- 重症化率、死亡率は季節性インフルエンザ並であろう。
- 重症者、死亡者の絶対数は流行の規模（感染者数）に比例する。
- 従って、今年の秋～冬には重症者、死亡者が増えると予測される。



朝日新聞2009年8月29日

厚生労働省は2009年8月28日に今後の患者数の推計を発表、国民の2割が発症すると推定しています（グラフ参照）。

新型インフルエンザへの対応のポイント

- 飛沫感染、接触感染であることを理解する。
- 感染予防には手洗い、マスク、咳エチケットが有効。
- ほとんどの場合は軽症であり自宅療養で対応できる。
- 重症化率や死亡率は季節性インフルエンザと同じであるので、あまりこわがる必要はない。
- 正しい情報にもとづいて冷静に対応する。パニックにならないこと
- 重症化しやすい人は流行前に「かかりつけ医」に相談しておく。



新型インフルエンザってどんな病気？

平成21年10月31日 印刷

平成21年10月31日 発行

■発行 兵庫県医師会・兵庫県

■編集・製作 兵庫県医師会

〒651-8555

神戸市中央区磯上通6-1-11

TEL：078-231-4114
